

指導者 T1 内富 幸 (HRT)

T2 有吉マリア (ALT)

T3 長岡 侑子 (なかよし2組担任)

1 単元名 My Favorite Memory 〈三井小の友達と小学校の思い出を紹介し合おう!〉

(「Junior Sunshine6」Lesson9)

2 単元目標

- 過去形を使って思い出や感想を紹介する表現を理解し、伝えたい内容を整理して話すことができる。また、語順を意識しながら、思い出や感想を表す表現を書き写すことができる。(知識及び技能)
- 他者に配慮しながら思い出や感想を話したり、友達の話の聞き取ったりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- 思い出や感想について、他者の反応を見ながら基本的な英語表現を用いて話したり、相手の話を聞き取ったりして、進んでコミュニケーションを図ろうとする。(学びに向かう力、人間性等)

3 指導の立場

本学級の児童は、英語を使って友達とコミュニケーションを図る楽しさを味わうとともに、英語を読んだり書いたりすることにも少しずつ慣れ親しんできている。Lesson4 “Welcome to Japan.” では、ALT とその家族に勧めたい日本の名所や食べ物について紹介した。魅力がより伝わるように表現を工夫したり、話す内容を整理したりして、発表に自信をもって取り組んだ。しかし、関わりの少ない人に、自分の思いや考えを伝えた経験は少ない。そこで、同じ中学校に進学する友達と英語を用いて交流する機会があれば、自他の考えを比較しながら聞く楽しさを味わうとともに、他校の友達に英語を用いて思いを伝えることで自信をもったり、英語表現の幅を広げたりすることができるだろう。

本単元は、英語を使ってコミュニケーションを図る活動を通して、小学校生活を振り返り思い出や感想を話したり、友達の表現の良さに気付いたりすることをねらいとしている。ここでは、不規則動詞の過去形や気持ちを表す形容詞を使って、伝えたい内容を整理し話すことが大切になる。そこで、Zoom を用いて「三井小の友達に小学校の思い出を紹介し合おう」という場を設定する。ペアやグループで練習したことを学級内や三井小の児童と発表し合うことで、自信をもって話す活動に取り組むことができ、他者に配慮して話すことの良さや大切さを実感するだろう。

本時の指導に当たっては、次の点に留意したい。

- **【Warm Up】** では、‘Small Talk’ を行う場を設定する。過去形を使った身近な話題を投げかけ、1分間程度、既習表現を用いて自分の思いや考えを友達と伝え合う。途中でやり取りの様子を振り返ったり、相手を変えて何度か取り組んだりすることで既習表現を繰り返し使用し、これまでの学習内容の定着を図ることができるようにする。
- **【Practice】** では、デモンストレーションを視聴する場を設定する。発表の中に形容詞が入っていることに気付かせることで本時のめあてをつかみ、学習への見通しをもたせることができる。また、既習事項を想起するために話し合ったり、全体で共有したりする場を設定する。そうすることで、話題が変わっても、形容詞を使って自分の思いを伝えることができることに気付くようにする。
- **【Activity】** では、ペアで発表し合う場を設定する。カードを使って自分の思い出を紹介したり、感想を加えたりして詳しく伝える。そうすることで、自分の考えを視覚的に分かりやすく伝えることができるようにする。また、「三井小の友達に伝わるか」という視点で話させることで、他者に配慮した表現の仕方を工夫することができるようにする。

#### 4 主な言語材料

<p>◆単語・表現 (学校行事) the school trip / Sports Day / the field trip・・・など (動詞) went to / saw / watched / ate / enjoyed・・・など (形容詞) fun / exciting / nice / delicious / good /・・・など</p>	<p>◆キーセンテンス  (1) My favorite memory is ～. (2) I [went to / saw / watched / ate] ～ (3) I [played / bought / ran] ～. (4) It was [fun / exciting / delicious] . ※ I like～. / I can～.</p>
---	---

#### 5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・思い出や感想を表す語句や, “My favorite memory is～.”, “I went to～.” などの過去形, “It was 形容詞.” を使った表現を聞いて理解したり, 話したりする技能を身に付けている。</p> <p>・思い出や感想を表す語句や, “My favorite memory is～.”, “I went to ～.” などの過去形, “It was 形容詞.” などを用いて, 書き写す技能を身に付けている。</p>	<p>・他者によりよく分かってもらえるように, 思い出や感想について聞いたり話したりしている。</p> <p>・自分の伝えたい内容を理解してもらうために, 思い出や感想について, 音声で十分慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。</p>	<p>・他者によりよく分かってもらえるように, 思い出や感想について聞こうとしたり, 話そうとしたりしている。</p> <p>・自分の伝えたい内容を理解してもらうために, 思い出や感想について, 音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書こうとしている。</p>

#### 6 単元計画 (総時数 8 時間) ※本時は○

時	目標	主な活動	キーセンテンス	評価
1	単元全体の見通しをもち, 思い出の言い方を知る。	デモンストレーションを見て単元の見通しをもったり, 6年間の学校生活の思い出について話し合ったりする。	What’s your favorite memory?  My favorite memory is ～.	指導に生かす評価
2	思い出の言い方を知り, 伝えることができる。	思い出の言い方を知り, ペアで話す。	I[went to/ ate]～. など	
3	思い出を詳しく紹介するために, 既習表現を生かして話すことができる。	詳しく話すために, 既習事項を生かした表現を考え, ペアで話す。	I[took/ran]～. など	
4	思い出を詳しく紹介するために, 必要な動詞を選んで話すことができる。	詳しく話すために, 動詞を1つ以上用いた表現を考え, ペアで話す。	It was 形容詞.	
⑤	思い出に感想を加えて, 話すことができる。	思い出を詳しく話したり, 形容詞を1つ以上加えて感想を話したりする。	I like～. / I can～. Do you like～? など	
6	既習表現を加えたり, 伝える内容を整理したりして, 発表の練習をする。	相手に分かりやすくなるよう内容を整理したり, 表現を加えたりしてグループに別れて発表の練習をする。		記録に残す評価
7	思い出を詳しく話したり, 感想を述べたりして学級内で発表することができる。	相手に配慮しながら発表したり, 互いの良さや改善点を見つけ合ったりすることができる。		
8	Zoom で三井小学校の友達と発表し合うことができる。	他者に配慮しながら, 思い出を詳しく伝えたり, 互いの良さを見つけ合ったりする。		

## 7 本時案

(1)主眼 友達に思い出を話す活動を通して、形容詞を使って感想を加えることの良さを味わうことができる。

(2)準備 絵カード, ワークシート, タブレット端末など

(3)学習過程

学習活動・学習内容	教師の働きかけ (担任: H, ALT: A)
<p>1 【Warm Up】既習表現を使い友達と会話することで、英語を話す雰囲気になれる。</p> <p>〈Small Talk〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習表現の定着とやり取りのポイント</li> </ul>	<p>H:互いの良さを見つけたりやり取りの様子を振り返ったりする場を設定することで、既習表現の定着を図り,相手を意識することの大切さに気付かせる。</p> <p>H:児童の振り返りを紹介し、良さを価値づけたり、本時の学習課題に関わる内容を取り上げたりすることで、活動への意欲を高めることができるようにする。</p>
<p><b>感想も加えてくわしく伝えよう。</b></p>	
<p>2 【Practice】感想の言い方に慣れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞の使い方</li> </ul> <p>It was [fun/nice/great] など</p>	<p>A:デモンストレーションを行うことで、活動への具体的な見通しをもつことができるようにする。</p> <p>H:感想に使えるような既習表現を相談したり発表させたりする時間を設けることで、既習表現を生かして自分の思いを伝えることができるようにする。</p> <p>H&amp;A:形容詞の使い方を練習させたり、加える箇所を決めさせたりすることで、活動に自信をもって取り組むことができるようにする。</p>
<p>3 【Activity】思い出に感想を加えて話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思い出 (過去形) と感想 (形容詞)</li> <li>・相手を意識した発表の仕方</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Hello. My favorite memory is Sports Day. I enjoyed running. It was exciting. Thank you.</p> </div>	<p>A:再度デモンストレーションを行うことで、思い出に感想を加えた話し方の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>H&amp;A:活動の途中で振り返りをするすることで、表現の確認をしたり、相手を意識した伝え方の良さを共有したりすることができるようにする。</p> <p>H&amp;A:紹介することが難しい児童には、メモを活用したり表現の確認をしたりすることで、安心して話すことができるようにする。</p> <p>H:相手を変えて繰り返し話したり聞いたりする場を設定し、自分の表現を高めていくことができるようにする。</p> <p>【評価ア・評価イ】</p>
<p>4 【Look Back】本時の学びを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想 (形容詞) を表す表現</li> <li>・自他の良さや次時の課題</li> </ul>	<p>H:活動の良さや課題についてワークシートに記入させることで、互いの良さを認め合ったり、次時への課題を見つけたりすることができるようにする。</p>

(4)評価 (観察, ワークシート)

・評価ア 形容詞を加えて、思い出を話すことができる。

(知識・技能)

・評価イ 相手によりよく分かってもらえるように、思い出や感想を話している。

(思考・判断・表現)

(5) 板書計画

感想も加えてくわしく伝えよう。

**It was**



delicious

**It was**



exciting

(6) 資料

【形容詞カードの例】



good



great



delicious



exciting